



# バーコードリーダー ご利用マニュアル

第 1.0 版

## 目次

1	はじめに .....	3
1.1	用語説明 .....	3
1.2	概要 .....	4
1.3	動作条件 .....	4
1.4	対応機種 .....	4
1.5	注意事項 .....	4
2	接続設定 .....	5
2.1	Bluetooth 接続 .....	5
2.2	Bluetooth SPP ポート設定 .....	8
2.3	バーコードリーダー（Kyocera Barcode Reader）のインストール .....	10
3	ツールの利用方法 .....	11
3.1	起動 .....	11
3.2	停止 .....	12
3.3	終了 .....	13
3.4	設定 .....	14
3.5	ログ確認 .....	15
	改訂履歴 .....	16

# 1 はじめに

## 1.1 用語説明

本ドキュメント内で用いる用語説明および略語は以下の通りです。

略語・用語	内容
PC	Personal Computer(パーソナルコンピュータ)の略で、個人が使用することを目的としたコンピュータ。
PC ツール	Windows <sup>®1</sup> PC で動作するバーコードリーダーツール。 (KYOCERA BarcodeReader)
端末アプリ	端末にプリインストールされているバーコードスキャナーアプリ。
作業用 PC	バーコードリーダーを利用する Windows PC。
端末	スマートフォン端末。KYOCERA DuraForce EX。
SPP ポート	SPP は Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)の略で、Bluetooth <sup>®2</sup> 通信におけるプロファイルのひとつ。 Bluetooth を介して通信する仮想的な COM ポート。
COM ポート	コンピュータの通信ポートのひとつで、特にシリアル通信に使用されるポート。

---

<sup>1</sup> Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

<sup>2</sup> Bluetooth 商標は Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

## 1.2 概要

本ドキュメントは、以下のツールに関する操作マニュアルを記載しています。

### ●バーコードリーダー（PC ツール）

「バーコードリーダー」は作業用 PC への入力用バーコードリーダーとして端末のバーコードスキャナーアプリを使用するツールです。

作業用 PC 上のテキストエディタや Microsoft Excel<sup>®3</sup>などへのバーコード情報入力が行えます。

## 1.3 動作条件

バーコードリーダーの動作条件は、以下の通りです。

項目名	利用環境/設定	詳細/設定値
PC	Windows 10/11	Bluetooth 機能を有すること
端末	読み取りモード	単独読み取り
	マルチスキャン	off

## 1.4 対応機種

DuraForce EX (KY-51D / A301KC / KC-S703 / KC-S603)

各機種の対応バージョンは以下の通りです。

機種名	対応バージョン
KY-51D	3.050DC 以降
A301KC	3.050BE 以降
KC-S703	3.070KC 以降
KC-S603	3.060WK 以降

## 1.5 注意事項

特になし

---

<sup>3</sup> Microsoft Excel は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

## 2 接続設定

### NOTE:

以下、PC 画面のレイアウトや文言は OS バージョンによって変わることがあります。  
本マニュアルでは Windows11 23H2 をベースに記載しております。

### 2.1 Bluetooth 接続

- ① 作業用 PC の Bluetooth 機能を有効にします。

Windows アイコンを右クリックし、「設定」をクリックします。

「Bluetooth とデバイス」を選択し、「Bluetooth」がオフになっていたらオンに変更します。



青枠のところに表示される「"xxxxxxx"として発見可能」の xxxxxx をメモしておいてください。本マニュアルでは“SAMPLE\_PC01”という名前の PC であった仮定で説明します。

- バーコードスキャナーを起動して設定画面へ遷移し、「Bluetooth による文字列送信」をタップします。

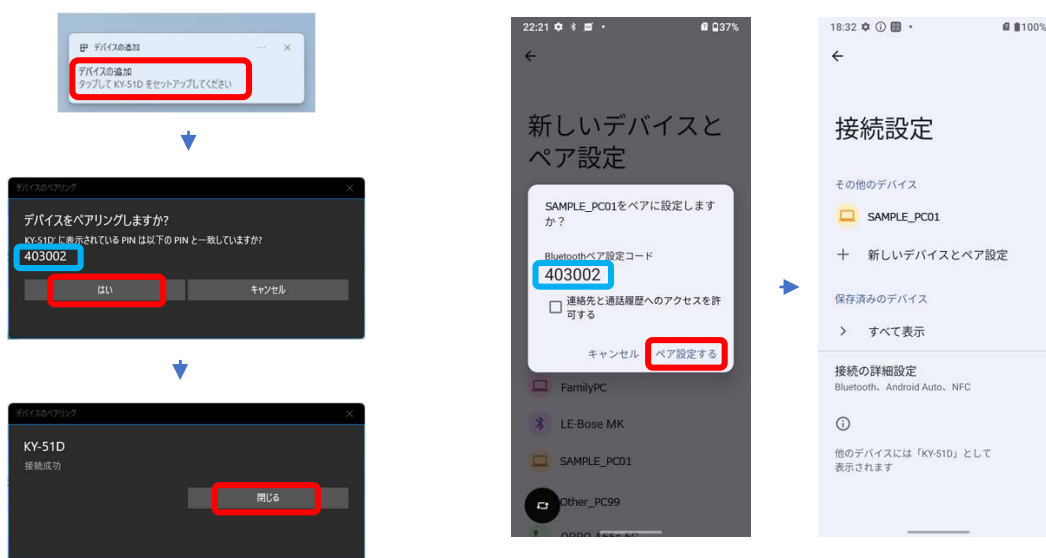


- 
- 16:27 Bluetooth 100%
- Bluetooth接続
- ペアリング済みデバイス
- + 新しいデバイスとペア設定
- 16:28 Bluetooth 100%
- 接続設定
- + 新しいデバイスとペア設定
- 保存済みデバイス
- > すべて表示
- 接続の詳細設定
- Bluetooth, Android Auto, NFC
- ①
- 他のデバイスには「KY-S10」として表示されます
- 16:28 Bluetooth 100%
- 新しいデバイスとペア設定
- デバイス名
- KY-S10
- 使用可能なデバイス
- OPPO Reno9 A
  - OPPO Reno5 A
  - OPPO AS4 5Gm
  - SAMPLE\_PC01
  - OPPO A55s 5G
  - Other\_PC99
  - FamilyPC

- ④ 使用可能なデバイスのところに作業用 PC のコンピュータ名 (①でメモしておいたコンピュータ名) が表示されたらそのコンピュータ名をタップします。



- ⑤ 作業用 PC に「デバイスの追加」ポップアップが通知されるのでそのポップアップをクリックします。また、端末にも「(コンピュータ名)をペアに設定しますか?」というポップアップが表示されます。それぞれに表示される PIN コードおよびペア設定コード(6桁の数値)が一致していることを確認し、作業用 PC では[はい]を、端末では[ペア設定する]を選択します。



#### NOTE

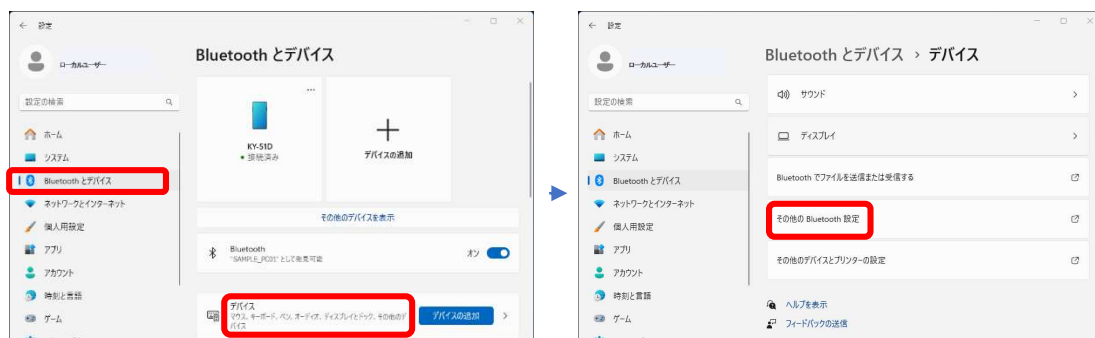
- ⑤の操作は一定時間が経過するとタイムアウトします。その場合は④の操作からやり直してください。

- ⑥ 「Bluetooth による文字列送信」が有効になり、作業用 PC のコンピュータ名（①でメモしておいたコンピュータ名）が表示されたら接続完了です。



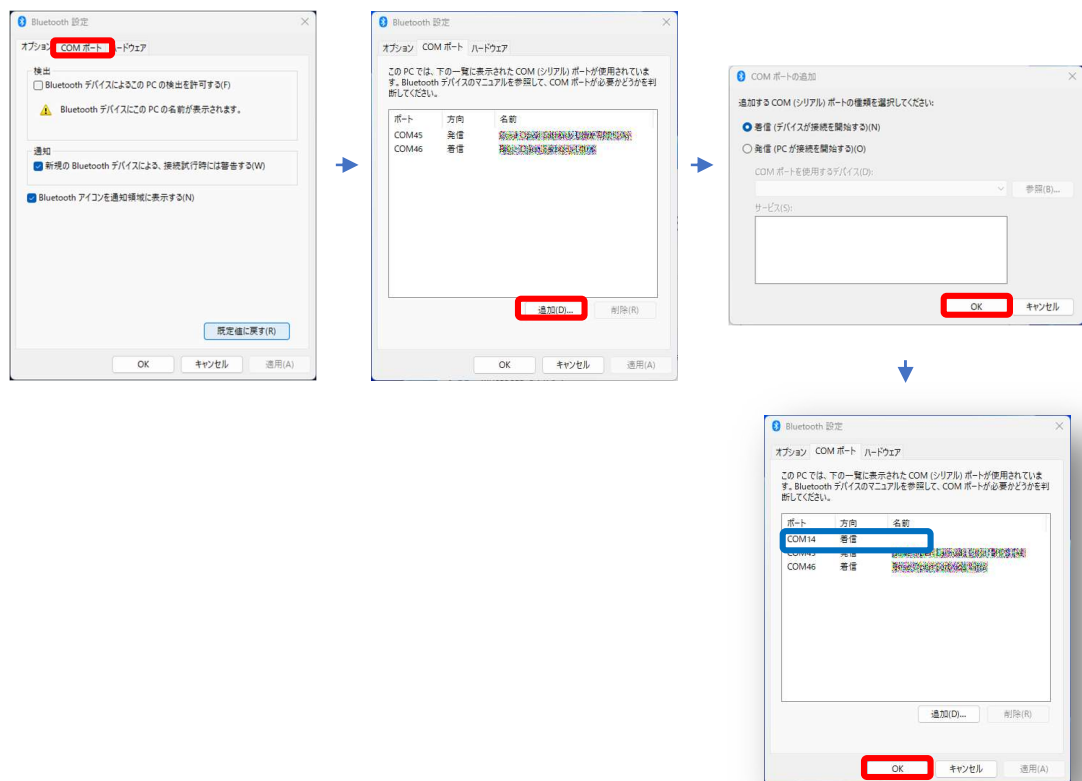
## 2.2 Bluetooth SPP ポート設定

- ① 作業用 PC で「その他の Bluetooth 設定」を開きます。  
「設定」画面で「Bluetooth とデバイス」、「デバイス」、「その他の Bluetooth 設定」をクリックします。



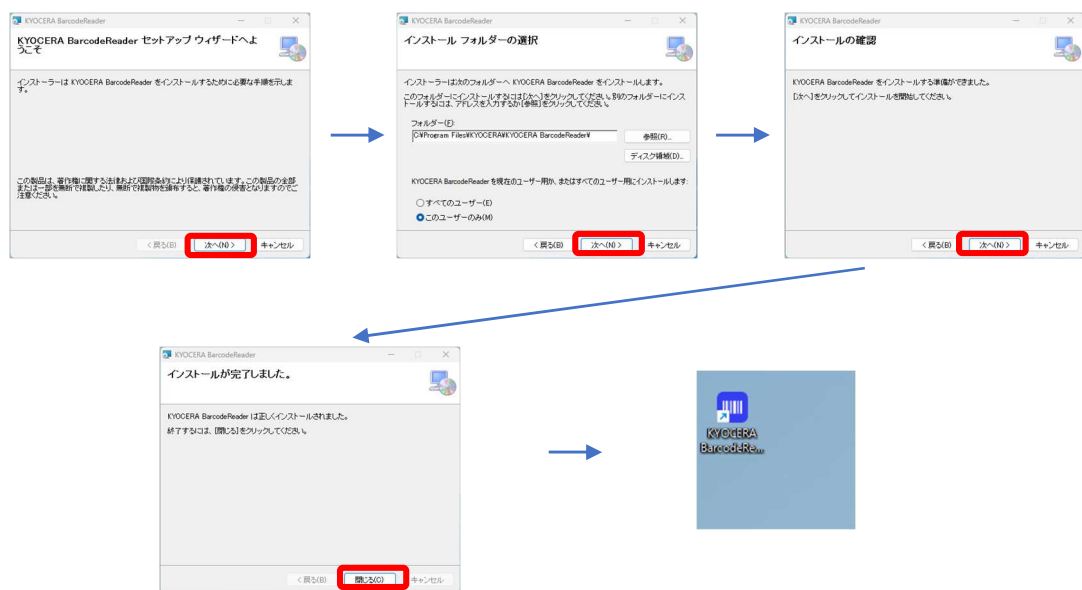


- ② 「Bluetooth 設定」ダイアログで SPP ポートを追加します。
- 「COM ポート」タブをクリックし、[追加(D)...]ボタンをクリックします。
- 「着信」のオプションボタンが有効になっていることを確認して[OK]ボタンをクリックします。
- 新たに追加された COM のポート番号（下記の画面では”COM14”）を確認しておいてください。
- [OK]ボタンを押して、ダイアログを閉じます。



## 2.3 バーコードリーダー（Kyocera Barcode Reader）のインストール

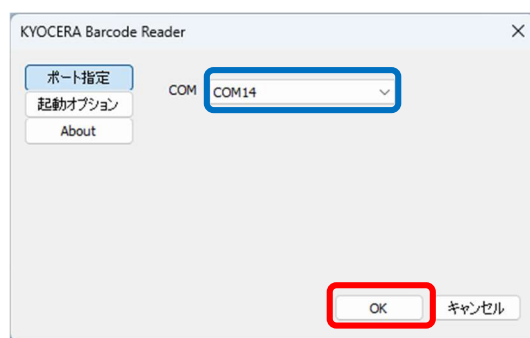
- ① 作業用 PC にバーコードリーダーアプリの msi インストーラをダウンロードします。
- ② 「KCBcReaderSetup64.msi」 ファイルをダブルクリックします。
- ③ インストーラが起動しますので、デフォルトのまま処理を進めます。  
インストールが完了すると、デスクトップにショートカットが表示されます。



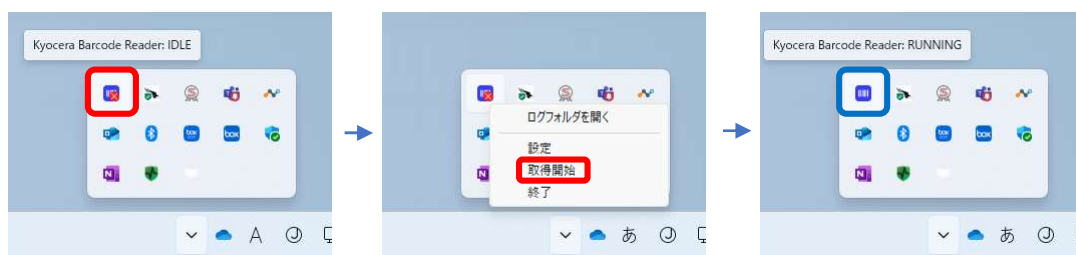
## 3 ツールの利用方法

### 3.1 起動

- ① 作業用 PC のデスクトップより KYOCERA BarcodeReader のショートカットをダブルクリックします。
- ② 初回のみ、COM ポートを指定するウィンドウが表示されますので、“2.2 Bluetooth SPP ポート設定”で追加した COM を選択して[OK]ボタンをクリックします。  
2 回目以降は この処理はスキップされます。



- ③ 初回は、タスクトレイに KYOCERA Barcode Reader アイコンが IDLE 状態で表示されているので、右クリックして[取得開始]を選択すると、RUNNING 状態のアイコンに変わります。



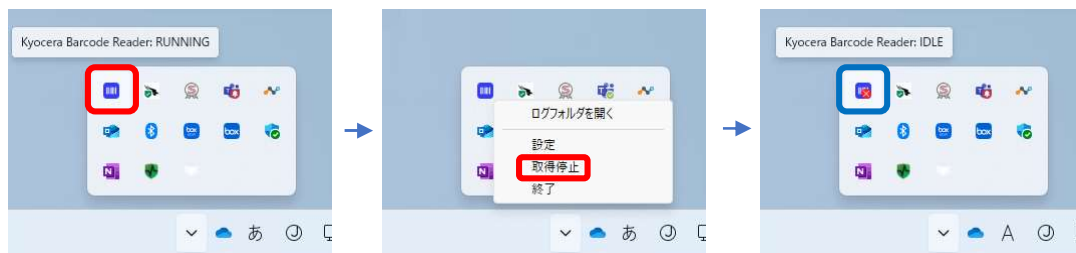
- ④ テキストエディタや Microsoft Excel などバーコードを入力したいエディタをアクティブにした状態で、端末よりバーコードを読み取ると、その内容がエディタに入力されます。

#### NOTE

エディタ側の IME が ON になっているとデータ化けすることがあります。IME を OFF にしてからスキャン動作を行ってください。

### 3.2 停止

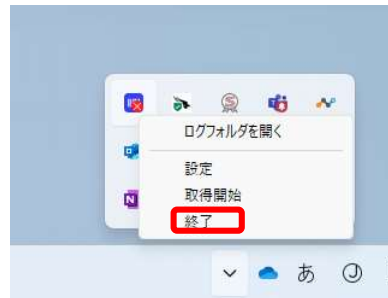
- ① タスクトレイの KYOCERA Barcode Reader アイコンが RUNNING 状態で表示されているときに、右クリックして[取得停止]を選択すると IDLE 状態のアイコンに変わります。



- ② 端末からバーコードを読み取っても、アクティブ状態のエディタにバーコード読み取り内容は入力されなくなります。

### 3.3 終了

- ① タスクトレイの KYOCERA Barcode Reader アイコン (IDLE 状態でも RUNNING 状態でも可) を右クリックして[終了]を選択します。

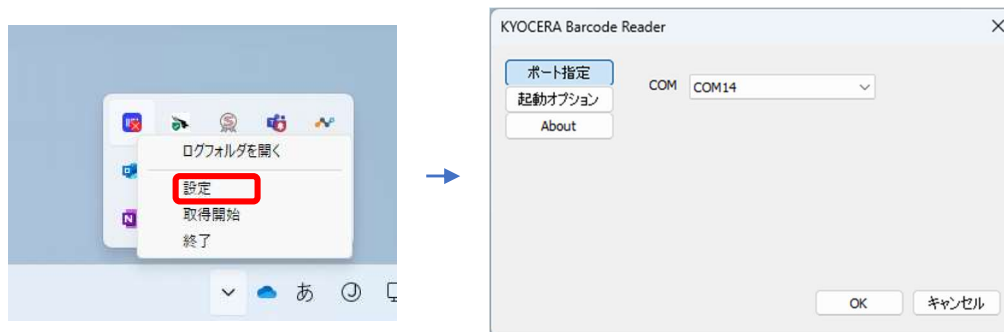


- ② タスクトレイから KYOCERA Barcode Reader アイコンが消えていれば終了しています。

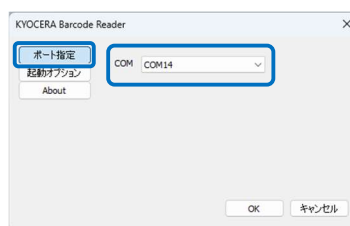
### 3.4 設定

初回起動時に設定したポート番号を変更したい場合や、起動オプションを変更したい場合に使用します。

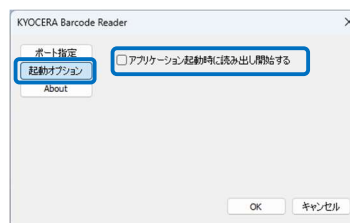
- ① タスクトレイの KYOCERA Barcode Reader アイコン（IDLE 状態でも RUNNING 状態でも可）を右クリックして[設定]を選択するとウィンドウが開きます。



- ② SPP ポートを変更する場合は、ウィンドウ左側の「ポート設定」を選択し、ドロップボックスよりポートを選択します。

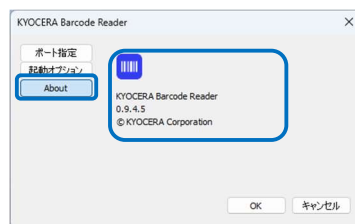


- ③ 起動オプションを変更する場合は、ウィンドウ左側の「起動オプション」を選択し、「アプリケーション起動時に読み出し開始する」のチェックボックスを切り替えます。

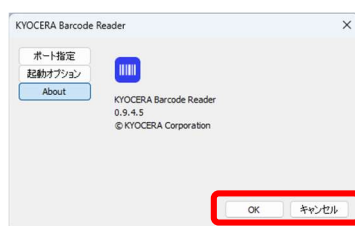


- ④ チェック状態にした場合は、次回起動時に RUNNING 状態からスタートします。  
チェックなし状態にした場合は、次回起動時に IDLE 状態でスタートします。

- ⑤ バージョン情報を確認する場合は、ウィンドウ左側の「About」を選択します。



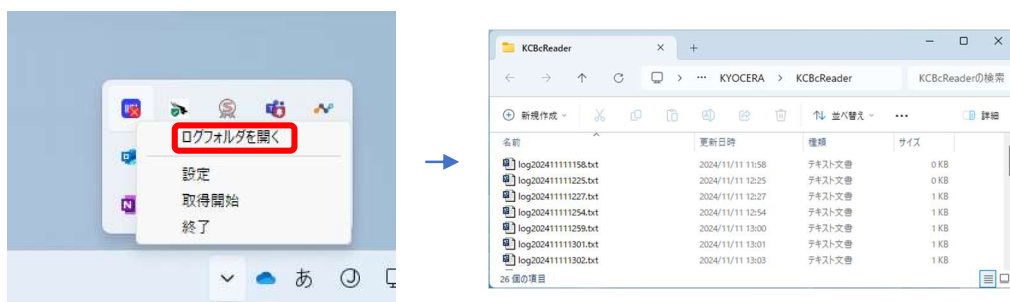
- ⑥ SPP ポートや起動オプションを変更した場合、[OK]をクリックすると変更内容が保存されてウィンドウが閉じます。変更を破棄したい場合は[キャンセル]をクリックしてウィンドウを閉じてください。



### 3.5 ログ確認

正しく動作しない場合、ログを確認することができます。

- ① タスクトレイの KYOCERA Barcode Reader アイコン（IDLE 状態でも RUNNING 状態でも可）を右クリックして[ログフォルダを開く]を選択するとエクスプローラウィンドウが開きます。



- ② ログに”FAILED”の文字列が出力されている場合や、端末でバーコードをスキャンしても”DATA Receive”という文字列が出力されていない場合は、本マニュアルの「2 接続設定」をご確認いただき設定し直してください。

## 改訂履歴

版数	日付	内容
1.0 版	2024 年 12 月 5 日	初版発行